

子どもの立場に立つ教育活動の充実に 生かす学校評価

札幌市立日新小学校

I はじめに

1 本校における学校評価のねらい

本校では、学校教育目標「進んで学ぶ 心豊かな たくましい子」を基に、重点目標「自ら考え判断し、行動する『たくましさ』の育み」と設定している。

学校教育目標、重点目標に沿い、子どもの立場に立つ教育活動の充実、教育課程の改善に向け、子どもの育ちを基にした評価をする。

2 昨年度の学校評価の結果を基にした改善点

本校では、昨年度の学校評価で課題が明確となり次のような改善点が示された。

学習指導においては、「言語」「体験」を生かした教育活動の推進のため「読書活動」を設定。さらに体験を取り入れた学習活動の展開。「TT」の活用による基礎・基本の充実を図るため習熟度別・課題別学習の計画的な実施。

また「自主」「自立」を育む道徳指導を展開するために、年間指導計画の作成、「心のノート」の活用と行事・教科との関連を意識した道徳指導の実施。

特別活動・児童指導では、「たくましい意思」をはぐくむための指導の充実を図るために、自主的な活動場면을学習や行事場面での意図的な設定。

II 本校の学校評価システム

1 自己評価の充実を図る組織体制

本校では、教育課程の編成と学校評価の仕事を教育課程検討委員会が担っている。メンバーは、教頭、教務主任、教育活動部長、活動創造部長、活動支援部長、学年経営部長、研究部長の7名で構成されている。

昨年度までも、中間・年度末の2回の学校評価を行っており、教職員による評価と併せて、より客観的な評価としていけるよう評価の裏付けとなるデータを活用している。これらを基に、子どもの立場に立つ教育活動の充実に役立つ評価にしようと試みている。

また、今まで取り組んでいなかった体力面においてもデータの収集を図ることとした。評価結果を基に自己評価書を作成し、保護者に配付するとともに学校HPにて公表をし、新年度の全校懇話会（学校説明会）で説明している。

2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

学校関係者評価を行う上で、評価委員会のメンバーの方より、「本校の教育活動を見る機会が少なく活動の評価を客観的に行う材料が少ない」、「文面だけの説明が多くなり、評価をするのが困難だ」などの声が寄せられた。そこで、評価の裏付けとなり得る、データを示すことによって、より客観的な評価としていけるように準備を進めた。

評価の裏付けとなる
データを活用する評
価

児童・保護者アンケート
学力検査
通知表
学校生活アンケート
学びの意識調査
全国体力・運動能力、
運動習慣等の調査

Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

	自 己 評 価			学校関係者評価
	学 校 (教職員)	児 童	保護者・地域	学校関係者評価委員会
4	学校経営方針・経営の重点 年間活動計画決定 学年経営方針決定 学習参観・懇談会	学力学習状況調査 (6年生) 「スタートの会」	学習参観・懇談会参加 スタートの会観覧	入学式参観 スタートの会観覧
5	全校懇話会	学力検査(2～6年)	全校懇話会参加	学校評議委員委嘱
6	運動会 学習参観・懇談会 学校評価の重点項目決定 アンケートの内容確認	ふれあいカード (運動会)	運動会観覧 学習参観・懇談会参加	運動会観覧 第1回学校評議委員会開催 学校関係者評価委員委嘱
7	個人懇談会 前期自己評価実施	学びの意識調査 体力・運動能力等調査	個人懇談会参加 PTA行事「日新七夕祭り」参加	第1回学校関係者評価委員会開催(説明と体制決定) PTA行事観覧
8	前期自己評価集計 各部での検討			
9	学習参観・懇談会 アンケート集約	児童アンケート 通知表「日新の子ども」	保護者アンケート	
10	前期学校評価全体会 学習発表会	学校生活アンケート ふれあいカード (学習発表会)	学習発表会観覧	第2回学校関係者評価委員会開催(学校関係者評価書の討議・決定) 学習発表会観覧
11	懇談会 日新の教育公開	「ゆうゆう ふれあい祭り」	懇談会参加 ゆうゆうふれあい祭り 観覧 日新の教育公開参加 教育公開アンケート	日新の教育公開参観
12	個人懇談会 後期自己評価実施		個人懇談会参加	
1	後期自己評価集計 アンケート集約 各部での検討	学びの意識調査 児童アンケート	保護者アンケート	
2	後期学校評価全体会 学習参観・懇談会	ふれあいカード (進級に向けて)	学習参観・懇談会参加	
3	全校懇話会 学年末懇談会 学校関係者評価の公表 (資料配付・HPに掲載)	「実りの会」 通知表「日新の子ども」	実りの会観覧 全校懇話会参加 学年末懇談会参加 卒業式参加	実りの会観覧 全校懇話会参観 第2回学校評議委員会開催 卒業式参観 第3回学校関係者評価委員会開催(学校関係者評価書の討議・決定)

IV 学校評価の方法

1 自己評価

評価項目の重点化

(1) 項目の設定

- ①重点目標 ②学習指導
- ③特別活動・児童指導 ④開かれた学校

の4つの項目に、それぞれ3～5の項目を設定し、計16の項目とした。

教職員の項目と児童・保護者との項目を対応させ比較をしやすくするために項目数を少なくした。

評価を裏付ける

データ

(2) アンケートの実施

- ・前期・後期の2回の「児童・保護者アンケート」
- ・研究として行っている「学びの意識調査」を2回実施
- ・教務部が行っている「学校生活アンケート」を1回実施
- ・「日新の教育公開」後のアンケート（150家庭からの回答）

また、中間・年度末評価では、教職員の項目と児童・保護者との項目を対応させ、比較ができるようにアンケートを行った。

(3) データの分析

本校で実施した「学力検査」「通知表」「全国体力・運動能力、運動習慣等の調査」のデータを分析し評価に活用した。

(4) 結果の集計と分析・自己評価の作成

児童アンケートの集計作業は担任が、職員と保護者アンケートの集計は、教育課程委員会が集計を行った。児童アンケートは100%の回収ができており、保護者アンケートについては、ここ数年90%を超える回収となっている。それぞれのデータの集計結果を基に学校評価全体会で、改善策を検討し、自己評価書を教育課程検討委員会で作成した。

(5) 改善策の検討

①中間評価

中間評価では、教育課程検討委員会ですぐに取り組みめるものについて改善の方向を示し、学校評価全体会で確認したのち、後期の教育活動の中で各部や学年で実践を通して、改善を図った。

②年度末評価

年度末には、次年度の教育課程改善策について、学校評価全体会で課題を検討した。課題として確認されたものについて、教育課程検討委員会で、改善策を作成提案し、次年度の教育課程編成に向けて学校評価全体会で認識の共通化を図っている。

中間評価を生かす後期の活動

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員の構成と役割

構成員は、昨年度まではPTA会長、町内会長、地域の防犯委員からなる学校評議委員5名である。今年度は、学校評議委員にPTA副会長を加えた7名で構成し、学校の行事などに参加していただき、教育活動をご覧いただいた上で評価してもらった。年度末の学校関係者評価委員会では、事前に配付した自己評価書の適正さについて、各委員がA～Dの4段階で評価し、その後に学校関係者評価委員会で話し合って決定していく。

(2) 学校関係者評価を生かす取組

学校関係者評価を行っていただく上で、目で見える子どもの姿だけではなく、評価の裏付けとなるアンケートなどの数値的な変化も提示し、判断材料の一つとしている。

- ・「児童アンケート」「保護者アンケート」

客観的な数値の変化を評価に生かす

- ・「学力検査」「通知表の集計・集約」の分析結果
 - ・「学びの意識調査」での数値の変化と分析
 - ・「学校生活アンケート」での子どもの意識と数値の変化
 - ・「全国体力・運動能力、運動習慣等の調査」の分析
- 等のデータを基に評価をしていただいた。

数値を示すことで、判断の基準が明確となり、成果や課題が共有できる。

関係者評価を受けての、次年度の教育課程編成の中で具現化したものについては、位置付けをはっきりとさせて、次年度の学校関係者評価委員会の中で報告する。そのことは、評価していただいたことがどのような形で生かされたのか、評価委員に伝わることであり、更に関心をもって本校教育活動を見ていただけたと考えている。

V 評価結果の公表

1 公表の方法

本校では、評価結果を以下の方法で行っている。

- ・学校だより
- ・学校ホームページ
- ・新年度の全校懇話会（学校説明会）

2 公表の効果

公表を行うことで、アンケートの記述の内容に建設的なものが増えてきている。また、アンケートの項目に挙がるような教育活動について、意識的によく見てくれるようになってきている。

また、年度始めの全校懇話会で評価結果の公表と改善策を示していくことで、今年度の重点を保護者に理解していただけた。

VI 成果と課題

第一の成果としては、評価の裏付けとなるデータを活用することで、学校関係者評価が客観的なデータに基づく評価とすることができたことである。それにより、教職員もこの評価を受け止め、真摯に改善策を考えていくことができるようになったことである。

また、年間の教育活動の取組で効果の上がっているものに対して、教職員が成果を確認・共通理解をし、その成果を保護者・地域に公表していくことによって、本校の教育活動に肯定的な理解を得られるようになってきて、学校改善に向かう姿を正確にとらえていただくことにつながっている。

課題としては、自己評価やアンケートの集計に時間がかかるため、時間を短縮するためにアンケート用紙など更に工夫をする必要がある。

学校関係者評価を行うに当たって、委員会の設置の時期が遅くれ、なかなか計画通りに進まなかった。次年度では、計画的に委員会を開催し、前期・後期の学校評価に対応していく必要がある。

また、評価の公表については、学校便り・学校HP・全校懇話会に提示した資料の配付だけではなく、直接説明する全校懇話会により多くの保護者・地域の方に参加していただくことが大切であるととらえている。

【参考文献】

- ・「学校評価ガイドライン」〔改訂〕 文部科学省
- ・「学校関係者評価を生かしたよりよい学校づくりに向けて」 文部科学省
- ・「札幌市の学校評価」 札幌市教育委員会

平成21年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成22年(2010年)3月 日
札幌市立日新小学校

学習についてあなたの気持ちを教えてください

年 組 名前 ()

1. 本年度の重点目標

自ら考え判断し、行動する「たくましさ」の育み

2. 本年度の経営方針

『信頼を得る』学校創り

「確かな力を身につける子」～「じっくり考える」ことを大切に
「やさしく正しい子」～ふれあいの充実、生命尊重・人権尊重最優先
「進んで創り出す子」～励ましと賞賛、努力の承認
「健康でねばり強い子」～安全教育と安全管理の一体化、健康教育と体力づくりの充実

3. 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	1. 重点目標の内容は、学校や児童の実態から見て適切である。				
	2. 「言語」・「体験」を生かした教育活動が計画され、展開されている。				
	3. 「ふれあい」・「生命尊重」の考えを生かした教育活動が計画され、展開されている。				
	4. 「直接体験」を生かした「たくましい意志を育む」教育活動が計画され、展開されている。				
	5. 「安全」・「健康」に配慮された教育活動が計画され、展開されている。				
学校関係者評価者による意見					
学習指導	1. 「じっくり考える」ことを大切にした学習指導の展開が図られている。				
	2. 「T・J」の活用により、基礎・基本の充実や個に応じた指導の充実が図られている。				
	3. 学力テストや意識調査などのデータからの一人一人の児童の見取りから指導の工夫が図られている。				
	4. 心のノートや学習シートを活用し、「自主」「自立」の心を育てる道徳指導の工夫が図られている。(道徳)				
学校関係者評価者による意見					
特活・児童指導	1. 集団の一員としての自覚をもち、協力してよりよい学校生活をつくる自主的、実践的な活動がなされている。(行事)				
	2. 思いやりにあふれた「ふれあい」と一人一人のよさや可能性が生かされた指導がなされている。(児活)				
	3. あいさつを基本とする基本的な生活習慣や、安全・健康への適切な指導が図られている。(学活)				
	4. 「たくましい意志」を育むために指導の充実が図られている。(学活)				
学校関係者評価者による意見					
開学が校	1. 学習参観や児童集会の公開などから子どもたちの活動の様子が保護者・地域に伝えられている。				
	2. 学校情報の発信、保護者・地域からの受信による情報の共有が図られている。				
	3. 児童・保護者・地域等の声を尊重し、学校改善に生かしている。				
学校関係者評価者による意見					

(1) 学習が始まる時は、どんな気持ちですか？

- (ア) いつもわくわくしている
- (イ) 時々わくわくするときがある
- (ウ) ときどきいやだなあと思うことがある
- (エ) いやだなあと思うことがよくある

(2) 学習したことをもってやってみたいと思いますか？

- (ア) いつもやってみたいと思っている
- (イ) どちらかというをやってみたいと思っている
- (ウ) どちらかというと思わない
- (エ) ほとんど思わない

(3) 学習時間、最後まで学習のことを考えることができますか？

- (ア) いつも考えることができる
- (イ) ほとんど考えることができる
- (ウ) ときどき別のことを考えることがある
- (エ) あまり考えることができない

(4) 学習は楽しいですか？

- (ア) いつも楽しい
 - (イ) まあまあ楽しい
- (ア) (イ) に○をつけた人は、どんなときに「楽しい」と感じますか？楽しいと感じるときを次の中から五つ選んで○をつけましょう。

- ①問題が解けたとき
- ②自分の意見が言えたとき
- ③新しいことを発見したり、分かったりしたとき
- ④友達やグループの人と一緒に考えたり、作業をしたりしているとき
- ⑤できなかったことができるようになったとき
- ⑥作品などができあがったとき
- ⑦先生にほめられたとき
- ⑧学習したことをノートや新聞にまとめるとき
- ⑨問題や課題を自分でいろいろと考えているとき
- ⑩学習中にする探検・実験・実習などが楽しい
- ⑪新しい道具などを使ったとき
- ⑫自分の意見を言って、「すごいなあ」「なるほどね」と言われたとき
- ⑬自分の意見に納得してくれたとき
- ⑭考えの違う友達と意見を出し合っているとき
- ⑮テストや練習問題をするととき
- ⑯好きな教科や得意な教科のとき
- ⑰新しい疑問や次にやりたいことができたとき
- ⑱学習中に笑いが起こったとき
- ⑲新しい内容に取り組むとき

あてはまる記号(あ～え)に1つだけ○をつけましょう。

I. 4つの子どもの姿

(確かな力を身につける子)

- ① 自分から進んで発表して、学習にとりくめましたか？
- あ…いつもすすんでとりくめた。 い…ときどきとりくめた。
う…あまりとりくめなかった。 え…とりくめなかった。

(やさしく、正しい子)

- ② 人にやさしくしたり、生き物を大切にしたりする気持ちをもって生活できましたか？
- あ…いつもできた。 い…ときどきできた。
う…あまりできなかった。 え…できなかった。

(進んで創り出す子)

- ③ 自分の考えをもとにして、学習や行事の活動を自分なりに工夫しましたか？
- あ…いつも工夫していた。
い…ときどき工夫していた。
う…あまり工夫しなかった。
え…しなかった。

(健康で、ねばり強い子)

- ④ 健康に気をつけて、元気に生活できましたか？
- あ…いつもできた。
い…ときどきできた。
う…あまりできなかった。
え…できなかった。



お子様の様子からあてはまる内容に○をつけてご回答ください

I. 4つの子どもの姿から

確かな力を身につける子～「知」

- ① 自ら学ぼうとする姿が見受けられますか？(家庭学習、学習参観、学力テスト等から)
- あ…いつも見られる い…ときどき見られる
う…あまり見られない え…見られない

やさしく、正しい子～「情」

- ② 友達のよさを認める気持ち、他人や自然への思いやりの心が育ちを感じられましたか？
- (ゆうゆう活動、花トピア、地域清掃活動等から)
- あ…大きな成長を感じる い…成長を感じる
う…あまり感じない え…感じない

進んで創り出す子～「意」

- ③ めあてをもって工夫しながら活動していますか？
- (道徳、総合的な学習の時間、運動会、学習発表会等)
- あ…いつも活動している い…活動している
う…あまり活動していない え…活動していない

健康で、ねばり強い子～「体」

- ④ 健康、安全の大切さを意識して生活していますか？
- (安全指導、交通安全教室、防犯教室、食育等)～「体」
- あ…いつも意識して生活している い…成長や効果を感じる
う…あまり感じない え…感じない

II. 学習指導について

- ① 学習を通して各教科の知識や技能、考える力、表現する力が身につけてきていると感じられましたか？
- あ…大きな成長や効果を感じる い…成長や効果を感じる
う…あまり感じない え…感じない